

平成26年度事務事業評価調書

整理番号	1	枝番	1
評価担当課	総務部(情報システム担当)		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	イントラネット機器等更新事業			
総合計画の位置づけ	① ・ 無	基本目標	1	市民と行政の協働によるまちづくり
		主要施策	4	情報化の推進
		基本事業	1	高度情報化の充実
		実施計画事業	3	行政内部情報システムの整備拡充

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	情報機器のメーカー保守は、おおよそ5年で終了するため更新の必要がある。継続的な機器の安定稼働を図り、行政内部情システムの円滑な運用を保持する。			
対象(何を又は誰を)	各種内部情報システム及びサーバー機器、ネットワーク接続機器			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	保守が終了したサーバー機器等の入れ替えやシステムのバージョンアップ			
意図(どのような成果を期待しているか)	各種システムの安定稼働と事務の効率化			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	25 年度	終期設定	① (終期 28 年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H23	H24	H25	H26見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H23決算	H24決算	H25決算	H26予算	平成25年度の事業費内訳
事業費	0	0	1,731	17,971	委託料 368 備品購入費 1,363
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源			1,731	17,971	
人件費	0	0	12,936	12,936	
平均給与額	6,683	6,629	6,468	6,468	
担当職員数			2.00	2.00	
総事業費	0	0	14,667	30,907	
対前年比(%)	-	-	-	211	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	サーバー機器およびネットワーク機器の価格が5年前と比較すると大幅に低下した。また仮想化サーバーなどの新技術が開発されたことにより、これをいち早く導入し保守対象機器を減少させることができた。
改善点	指摘事項 <input checked="" type="radio"/> 有 () <input type="radio"/> 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	コンピュータシステムの維持管理はその性格上、市が主体とならなければならない。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	システムの安定稼働や情報の保護に関しては最も有効な手段である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	機器の価格が低廉傾向にあるので、経常経費を含めトータルのコスト削減に努める。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがなかいかな？		
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？		

5 1次評価

評価結果	理由	
A	行政事務システムを適切に維持管理することは事務処理の効率化と住民サービスの向上につながる。このため当該事業を継続することによりシステムの安定稼働と情報資産等の保持が担保される。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり